

令和3年度 天理市自立支援協議会活動報告

<連絡先>

天理市健康福祉部社会福祉課

〒632-8555

天理市川原城町 605 番地

TEL 0743-63-1001

FAX 0743-63-5378

HP <http://www.city.tenri.nara.jp/>

1. はじめに、天理市自立支援協議会とは…

「障害のある人が安心して生活できる地域をつくる」という目標を持つ人達が集って、どう支援していくのかを考える場です。参加者が常に目的意識を持ち実効性のあるものを目指して気持ちを一つにして取り組んでいます。

天理市自立支援協議会のしくみ

天理市自立支援協議会は、障害のある当事者とさまざまな部門で障害のある人を地域で支える実務関係者で構成され、情報共有や地域課題の解決に向けて話し合っています。

- ① 全体会…課題を提起し、解決に向けての方策を検討し、課題の振り分けと情報の共有を図る。
- ② 定例会… 全体会の運営、困難事例・地域課題を課題ごとに内容を議論し、どの部会で解決するかなどを整理する。
- ③ 専門部会(必要に応じて随時開催)…課題解決に向けて具体的な施策を考える。
- ④ 事務局… 天理市社会福祉課障害福祉係

2 令和3年度全体会及び定例会、専門部会の活動報告

◆ 令和3年度全体会 中止

課題を提起し、解決に向けての方策を検討し、課題の振り分けと情報の共有を図る。
今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止しました。

◆ 定例会

全体会の運営、相談支援の内容報告、困難事例・地域課題を課題ごとに内容を議論し、どの部会で解決するかなどを整理する。

6月 19日(月)	10月 26日(月)	1月 25日(月)
-----------	------------	-----------

◆ 相談支援連絡会 12月 20日(月)

◆ 専門部会

課題解決に向けて具体的な施策を考える。

◇ 精神障害者部会

6月7日(月)	8月2日(月)	10月4日(月)
12月6日(月)	2月7日(月)	3月7日(月)勉強会

天理市自立支援協議会
精神障害者部会の活動報告

こもれび 梅本

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い今年度の精神部会は Zoom を利用したオンライン開催とした。今年度は「訪問看護ステーションひなた」「ほっとなび」「生活訓練こもれび」が新たに部会へ参加された。また、オンラインでの部会開催のメリットを生かし、8月の部会では郡山保健所の松岡氏にご参加いただき現在の保健所機能について話していただいた。家族や支援者が日ごろ感じている課題などを共有する機会となった。

部会では、コロナ渦での地域や支援機関の現状の共有や、困難事例の検討を行なった。話題としてあがったのは、在宅におられる未受診の方をどう支援につなげるかであった。その中で、天理市内の精神科クリニック不足が課題としてあがった。さらに制度の狭間で支援ができなかった方へ支援を届けるために、もっと往診可能な精神科クリニックが必要であると声があがった。

また、2ヶ月に1回の頻度で、部会参加者を対象とした1時間程度の勉強会を Zoom 開催することとした。テーマは各機関の特徴・大切にしていること、事例検討(困っているケースの解消)とし、2ヶ月に1回の頻度で Zoom を利用した1時間程度の勉強会を開催することとした。3月7日に第一回を実施、「訪問看護ステーションひなた」から事業所の取り組みを話していただいた。来年度も継続して勉強会を実施する予定である。

◇ 就労支援部会

8月30日(月)

10月25日(月)

1月24日(月)

天理市自立支援協議会 ～就労支援部会報告～

なら東和障害者就業・生活支援センターたいよう
村上 仁

～部会の動きについて～

○部会の開催頻度とテーマについて

○障害者雇用の現状について(情報提供)

- ・令和3年3月1日から障害者の法定雇用率引き上げ
民間企業 2.2%⇒2.3%
- ・奈良県の障害者雇用状況について、民間企業における実雇用率 2.83%で2年連続全国第1位
- ・障害者就職面接会開催
(北和地域対象:11月25日)(中南和地域対象:12月2日)
- ・就労系サービス報酬単価の見直しについて

○障害者の就労支援について

- ・現行の取り扱いでは、一般就労中における就労系障害福祉サービスの利用について、原則として一般就労中の利用は想定されていない。
- ・一般就労中の利用に関する実態調査において、「入職時の慣らし」「入職後の一時的不調」「休職者の職場復帰」「加齢等による段階的な移行」の場面について、企業等で雇用されているものの受け入れ実績があると回答した事業所がそれぞれ存在することが判明。
- ・新たな就労アセスメントを実施する仕組みが検討されている
- ・A型の在り方、役割に関する整理イメージについて、現状では、報酬を賃金に充てている事業所があるなどの課題が挙げられている。
- ・企業等における就労と就労継続支援事業の関係について、現行と今後のイメージについて示され、今後検討される予定である。
- ・就労系障害福祉サービス利用の流れを確認
- ・定着・職場適応援助にかかわる主な支援の関係整理について確認
- ・今後の障害者就業・生活支援センターと地域の関係機関との連携イメージについて確認

○新型コロナウイルス感染状況について

- ・各事業所・養護学校での感染状況及び感染対策、初動マニュアル等について情報共有。
- ・事業所で関係者に濃厚接触・陽性反応が出た際は、保健所・県障害福祉課へ連絡し、それぞれの指示を受け、検査の段取りを行う。(天理市社会福祉課へも連絡)
- ・県障害福祉課の指示で事業所を閉所する場合は、通所サービスの居宅等での代替支援を検討し、天理市社会福祉課へ連絡。

【各事業所からの報告】

- ・通所利用の時間短縮や休所、それに伴う利用者の家庭での様子を確認するために自宅訪問や電話での様子確認等。
- ・授産事業の収益の減少。
- ・検温、手洗いうがい等の徹底、建物内の消毒除菌対応。
- ・ショートステイなどの新規利用者の一時受け入れ中止。現在は感染予防対策をしながら随時対応されている。

○その他 情報交換

- ・障害者雇用率含めた雇用状況についての説明
- ・制度に関する最新情報の共有

今年度は、コロナウイルス感染拡大により、zoom での開催とした。今後も状況を見て、対面での開催と zoom によるオンラインとの併用で開催していく。